

「高品質な高岡産大豆」を目指しましょう！

令和7年産

大豆栽培こよみ

高岡市農業協同組合
富山県高岡農林振興センター

生育ステージ	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月						
	排水対策・土づくり	播種適期 発芽期	草丈・節数増加期	開花期	莢伸長期 子実肥大期	成熟期 収穫期							
作業名	排水対策	石灰質資材散布	種子消毒	播種	1回目 2回目 畦間かん水	1回目 2回目 防除	収穫 秋起し						
チェック	排水対策	石灰質資材散布	種子消毒	播種	1回目 2回目 畦間かん水	1回目 2回目 防除	収穫 秋起し						
主な作業	<p>額縁排水溝 心土破碎</p> <p>石灰質資材散布</p> <p>種子消毒</p> <p>耕起・碎土 施肥 播種</p> <p>除草散布</p> <p>1回目培土</p> <p>2回目培土</p> <p>1回目防除</p> <p>2回目防除</p> <p>収穫準備</p> <p>収穫</p> <p>次年度対策</p>	<p>まず早めに排水対策</p> <p>播種作業は慌てず、確実に！</p> <p>改良型</p> <p>従来型</p> <p>お使いの播種機を確認してください！ 機種によりスプロケットの設定及び車速が異なります</p>	<p>初生菜</p> <p>子葉</p> <p>1回目 本葉2~3葉 播種後20~25日</p> <p>2回目 本葉4~5葉 播種後30~35日</p> <p>株元までしっかりと土をかける</p>	<p>黒根腐病</p> <p>紫斑粒</p> <p>ホソヘリカメムシ</p> <p>イチモンジカメムシ</p> <p>大豆に発生する主な病害虫</p> <p>晴天が3日以上続いたら入水 (開花期~9月上旬頃まで)</p> <p>うね間かん水で落莢を防止！</p>	<p>大きな雑草や青立ち株を除去</p> <p>タデ類・イヌホオズキ類等の</p> <p>難防除雑草類は確実に除去</p>	<p>黄緑 黄 黄褐 褐色</p> <p>収穫適期内での収穫完了</p> <p>品種ごとに莢の色や子実水分を確認し、適期に収穫しましょう！</p> <table border="1"> <tr> <th>収穫開始の目安</th> <th>莢の色</th> <th>子実水分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>株全体の9割以上が褐色 緑色の莢が無い</td> <td>エンレイ 22%から シュウレイ 20%から</td> </tr> </table>	収穫開始の目安	莢の色	子実水分		株全体の9割以上が褐色 緑色の莢が無い	エンレイ 22%から シュウレイ 20%から	<p>緑肥作物による地力づくり</p> <p>心土破碎・額縁排水溝の設置</p>
収穫開始の目安	莢の色	子実水分											
	株全体の9割以上が褐色 緑色の莢が無い	エンレイ 22%から シュウレイ 20%から											

土づくり

- ◎ 大豆は中性に近い土壌を好むので、pHは6.0~6.5を目標に必ず石灰質資材を施用しましょう。
- ◎ 地力の低下と加里を補うため、発酵鶏ふんを施用しましょう。

【土づくり・基肥量の目安(10aあたり)】

資材名	単作	麦あと
苦土石灰	100~200 kg	
発酵鶏ふん	100~150 kg	
BB084 (10-18-24)	砂質~壤質土	20kg 35kg
	粘質土	15kg 30kg

※麦あと大豆は、麦稈の腐熟を促進させるため、基肥のチッソ成分を1.5~2kg増量してください。

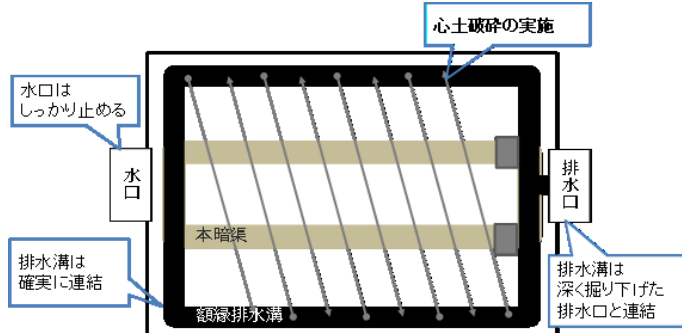
種子消毒 (病害虫防除の徹底)

◎ 茎疫病などの苗立枯性病害やフタスジヒメハムシを防除するためクルーザーMAXXで種子消毒を行いましょう。

使用薬剤	処理方法
クルーザーMAXX	乾燥種子1kg当たり原液8mL塗沫

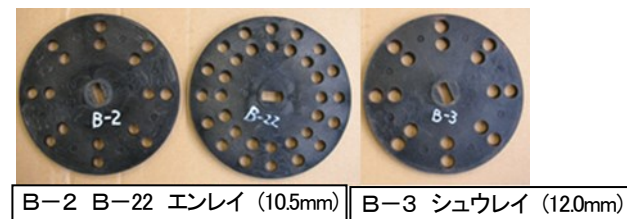
排水対策の徹底

◎ 額縁及び心土破碎等による排水性の改善



播種作業

- ◎ 播種機の型式により、スプロケットの設定及び車速が異なるため注意
- ◎ 目皿とスプロケットの組合せを確認
- ◎ 品種に応じた目皿の使用



- ◎ 適正な播種深度(3cm程度)の徹底
- ◎ 品種・播種時期に応じた適正栽植本数の確実な確保



◎ エンレイにおいて、播種機の調整等を行っても目標とする播種量が投下されない場合は目皿B-22を使用しましょう

TDRG型(従来型) 車速 1.8~2.0km/h

<エンレイ> 条間80cm、播種精度95%、苗立率90%、種子百粒重●●g

目皿	播種時期	播種量	栽植本数 (本/㎡)	スプロケット	
				目皿側	車輪側
B-2	6月上旬		12~15	10~11	11
	6月中旬		15~18	10	13~14

<シュウレイ> 条間80cm、播種精度95%、苗立率90%で計算

目皿	播種時期	播種量	栽植本数 (本/㎡)	スプロケット	
				目皿側	車輪側
B-3	6月上旬		12~15	10~11	11
	6月中旬		15~18	9	14

雑草対策

イヌホオズキ類にはプロールプラス、ラクサー、エコトップが効果的です。帰化アサガオ類にはサターンバアロが効果的です。

薬剤名	10a当りの散布量	使用方法	散布時期
ラクサー粒剤	4~8kg	全面土壌散布	は種後出芽前 (雑草発生前)
エコトップ乳剤	400~600mL 水100Lで希釈		
プロールプラス乳剤 (※黄色着色注意!)	400~600mL 水100Lで希釈	全面土壌散布	は種後出芽前
サターンバアロ粒剤	4~6kg		
トレファノサイト粒剤2.5	4~6kg	雑草茎葉散布 全面土壌散布	出芽直前~大豆3葉期まで (雑草発生初期~2葉期)
パワーガイザー液剤	200~300mL 水100Lで希釈		
大豆バサグラン液剤	100~150mL 水100Lで希釈	雑草茎葉散布 又は全面散布	大豆2葉期~開花前まで 収穫45日前まで
	300~500mL 水100Lで希釈		
ポルトフロアブル	200~300mL 水100Lで希釈	雑草茎葉散布 又は全面散布	イネ科雑草3~10葉期 収穫30日前まで
	300~500mL 水100~150Lで希釈		
バスタ液剤	300~500mL 水100~150Lで希釈	畦間処理 株間処理	雑草生育期(株間処理は大豆5葉期以降) 収穫28日前まで

* 播種後の降雨で除草剤散布前に出芽した場合はパワーガイザーを使用しましょう。

病害虫防除

2回目の基本防除は1回目の14日後頃に確実に防除しましょう

	薬剤名	管理機体系	無人航空機体系	防除時期	対象病害虫	
基本防除	1回目	スミチオン乳剤	1000倍 (100L/10a)	8倍 (0.8L/10a)	8月6~15日頃 (開花後2~4週間頃)	カメムシ類など
		ブランドム乳剤2.5	3000倍 (100L/10a)	16~24倍 (0.8L/10a)		紫斑病
	2回目	アミスターレボンSE	1000倍 (100L/10a)	8倍 (0.8L/10a)	8月20~29日頃	紫斑病+カメムシ類